

— 目 次 —

1	点検・評価の趣旨等	2
	(1) 趣旨	2
	(2) 目的	2
	(3) 対象	2
	(4) 点検・評価の流れ	2
2	教育委員の活動状況	3
	(1) 教育長及び教育委員	3
	(2) 教育委員会会議	3
	(3) 一宮町総合教育会議	5
	(4) 教育委員会会議以外の主な活動状況	5
3	各種施策について	7
	(1) 一宮町教育大綱	7
	(2) 一宮町教育施策（施策表）	7
	(3) 各種施策	8
4	各種施策の点検・評価	11
	(1) 評価基準	11
	(2) 点検・評価	12
	施策1 人生を主体的に切り拓くための学びの確立	12
	施策2 道徳性を高める心の教育の推進	16
	施策3 生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進	18
	施策4 共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進	21
	施策5 人間形成の場としての活力ある学校づくり	22
	施策6 教育現場の重視と教員の質・教育力の向上	25
	施策7 多様なニーズに対応した教育の推進	27
	施策8 家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進	28
	施策9 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進	33
	施策10 郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成	36
	施策11 「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進	41

# 1 点検・評価の趣旨等

## (1) 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

一宮町教育委員会では、この規定に基づき令和5年度における事務の管理及び執行状況について点検・評価します。

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## (2) 目的

教育委員会に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行うことで、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的とします。

## (3) 対象

「一宮町教育大綱」に基づいた「令和5年度一宮町教育施策」により進めた事業を対象として、点検・評価を実施しました。各事業の課題等を明らかにするとともに、今後の方向性について示しました。

## (4) 点検・評価の流れ

- ① 担当係での報告書の作成
- ② 教育委員会による点検・評価
- ③ 議会への報告
- ④ 町ホームページによる公表

## 2 教育委員の活動状況

### (1) 教育長及び教育委員

役職名	氏名	任期
教育長	竹之内 達生	令和4年4月1日～令和7年1月31日
教育長職務代理者	小高 隆	令和3年10月1日～令和7年9月30日
委員	立花 亜由美	令和5年1月29日～令和9年1月28日
委員	川城 健	令和3年9月24日～令和7年9月23日
委員	関 信夫	令和5年10月1日～令和9年9月30日

### (2) 教育委員会会議

令和5年度は定例会を12回開催しました。

また、定例会とは別に教育委員、町長及び教育委員会事務局で意見交換等も行いました。

#### ① 開催回数（令和5年4月～令和6年3月）

	定例会	臨時会	計
回数	12回	0回	12回

#### ② 議決事項等

	開催日	議案番号及び議案名
4月定例会	4月18日	議案第1号 学校評議員の委嘱について 議案第2号 学校運営協議会の委員の委嘱について 議案第3号 一宮町社会教育委員の任命について (報告事項：2件)
5月定例会	5月17日	議案第1号 一宮町指定文化財の指定について 議案第2号 一宮町教育支援委員の委嘱について (報告事項：2件)
6月定例会	6月13日	議案第1号 一宮町登録文化財登録制度要綱の制定について
7月定例会	7月18日	議案第1号 一宮町史編さん委員の委嘱について 議案第2号 令和6年度使用教科用図書の採択について
8月定例会	8月8日	議案第1号 一宮町史調査員の委嘱について (報告事項：2件)

9月定例会	9月5日	議案第1号 一宮町文化財審議委員辞任届の受理について 議案第2号 令和6年度教育予算等の要望について (報告事項：1件)
10月定例会	10月10日	議決事項なし (報告事項：1件)
11月定例会	11月15日	議案第1号 一宮町史調査員の委嘱について 議案第2号 一宮町要保護及び準要保護児童生徒就学援助に関する要綱の一部を改正する告示について
12月定例会	12月1日	議決事項なし
1月定例会	1月16日	議決事項なし
2月定例会	2月13日	議案第1号 一宮町教育委員会規則で定める申請書等における押印廃止に関する規則の制定について 議案第2号 一宮町教育委員会告示で定める申請書等における押印の廃止に関する要綱の制定について 議案第3号 一宮町教育委員会訓令で定める申請書等における押印の廃止に関する訓令の制定について 議案第4号 令和6年度教科用図書長生採択地区協議会規約の制定の承認について 議案第5号 教育功労者の表彰について 議案第6号 一宮町立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について 議案第7号 一宮町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第8号 一宮町立小学校・中学校の学校評議員設置要綱を廃止する告示の制定について 協議事項 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
3月定例会	3月26日	議案第1号 令和5年度末県費負担教職員の内申について 議案第2号 職員の任免について 議案第3号 一宮町社会教育委員の任命について 議案第4号 一宮町史編さん委員の委嘱について 議案第5号 一宮町史調査員の委嘱について 議案第6号 一宮町文化財審議委員の委嘱について 議案第7号 一宮町スポーツ推進委員の任命について 議案第8号 一宮町教育委員会顕彰規定運用要領の一部を改正する訓令の制定について

		議案第9号 一宮町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について 議案第10号 一宮町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する告示の制定について 議案第11号 一宮町立学校における学校運営協議会の運営に関する要綱の制定について 議案第12号 一宮町部活動地域移行推進協議会設置要綱の制定について (報告事項：1件)
--	--	---

### (3) 一宮町総合教育会議

総合教育会議は、町長と教育委員会で構成され、町長と教育委員会が円滑に意思疎通を図り、当町における教育の課題及び目指す姿等を共有しながら、相互に連携して教育を推進することを目的としており、令和5年度は1回開催しました。

議題等 (令和5年4月～令和6年3月)

	開催日	協議・調整事項
第1回	2月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『新編一宮町史』編さん事業について</li> <li>・一宮町中央公民館整備計画について</li> <li>・令和6年度一宮町教育施策について</li> </ul>

### (4) 教育委員会会議以外の主な活動状況

教育委員は、教育委員会会議への出席の他に学校を訪問して教育現場の状況を把握するとともに、議案や教育課題等に対する理解を深め、多面的な角度から議論を行うため、教科書採択会議、関係団体等が主催する研修会及び総会に参加しました。

また、教育委員会会議で協議する案件等について、立案の経緯や問題点を含め教育委員と事務局が情報交換、意見交換を行うことで課題意識を共有しました。

#### ・学校訪問

開催日	訪問先
令和5年7月4日	東浪見小学校 (東上総教育事務所 所長訪問時)
令和5年9月12日	一宮小学校 (東上総教育事務所 次長訪問時)

#### ・卒業式

開催日	訪問先
令和6年3月8日	一宮中学校

令和6年3月14日	一宮小学校
令和6年3月15日	東浪見小学校

・運動会

開催日	訪問先
令和5年5月20日	一宮中学校
令和5年9月30日	東浪見小学校
令和5年10月14日	一宮小学校

・教科書採択

開催日	訪問先
令和5年5月22日	第1回長生地区教科書採択協議会
令和5年7月12日	第2回長生地区教科書採択協議会

・研修会等

開催日	訪問先
令和5年4月21日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会定期総会
令和5年5月23日	千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会（流山市）
令和5年5月26日	関東甲信越静岡市町村教育委員会総会及び研修会（埼玉県加須市）
令和5年9月29日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会第1回理事会（書面開催）
令和5年11月28日 ～12月27日	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 第1回教育長・教育委員研修会（動画配信）
令和6年1月26日	千葉県市町村教育委員会連絡協議会 第2回教育長・教育委員研修会（流山市）
令和6年2月2日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会第2回理事会
令和6年3月21日	長生地区市町村教育委員会連絡協議会教育功労者表彰式 及び第3回理事会

・その他

開催日	訪問先
令和5年4月4日	教育委員と学校管理職等との顔合わせ会
令和5年9月27日	令和6年度教育予算等の要望書提出

### 3 各種施策について

#### (1) 一宮町教育大綱

一宮町教育大綱により定めた目標及び基本理念は、次の通りです。

##### ①目標

『将来の町と国の担い手となり 世界に羽ばたく若者の育成』  
 ～学校・家庭・地域で「ふれる」、「かかわる」、そして「つながる」を合言葉に～

##### ②基本理念

子どもたちが自己肯定感を高め社会主権者として、「町民としての誇り」を抱いて未来への第一歩を踏み出すために、学校・家庭・地域社会が連携を深め、子どもたちに関わっていく。更には、第4次産業革命の時代を迎える中、創造力・健全な批判精神・おもてなし・道徳性・倫理性などの「人間の強み」を育み、グローバル時代に必要な資質・能力を高め、地域を支えるとともに「世界とつながる人材」を育てることを基本理念とする。

#### (2) 一宮町教育施策（施策表）

点検・評価は、一宮町教育大綱に基づいた一宮町教育施策について実施しています。

基本目標		施 策	
1 子どもの 目指す姿	高い志を持ち、地域の 未来を切り拓く、一宮町 の子供を育てる	1	人生を主体的に切り拓くための学びの確立
		2	道徳性を高める心の教育の推進
		3	生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進
		4	共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進
2 学校の 目指す姿	「自信」と「安心」を 育む学校をつくる	5	人間形成の場としての活力ある学校づくり
		6	教育現場の重視と教職員の質・教育力の向上
		7	多様なニーズに対応した教育の推進
3 家庭・地域の 目指す姿	家庭と地域の絆を深め、 全ての人が活躍できる 環境を整える	8	家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進
		9	人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
4 町民の 目指す姿	世界を舞台に活躍する 人材を育成し、「楽しい」 「喜び」に満ちた豊かな 社会を創る	10	郷土と日本を愛する心に加え世界を舞台に活躍する能力の育成
		11	「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進

### (3) 各種施策

<b>基本目標 1</b>	<b>子どもの目指す姿</b>	<b>高い志を持ち、未来を切り拓く子供を育てる</b>
---------------	-----------------	-----------------------------

【施策1】人生を主体的に切り拓くための学びの確立	主な事業等
①子供の学習意欲を高め、学力向上を図る取組の推進 ②全ての子供が、本に親しみながら成長していくための読書活動 ③子供のコミュニケーション能力を伸ばす外国語教育の充実 ④学びの質を高め、情報活用能力を育むICT利活用の推進 ⑤学びを将来へとつなぐ系統的なキャリア教育の推進 ⑥幼児教育の質の向上と初等教育への円滑な接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート</li> <li>・学校図書室環境整備</li> <li>・学習サポーター等の派遣</li> <li>・サマースクール</li> <li>・サタデースクール</li> <li>・ステップアップスクール</li> <li>・ICT活用推進事業</li> <li>・生活科・総合的な学習</li> <li>・英語検定補助事業</li> <li>・中学生語学研修事業</li> </ul>

【施策2】道徳性を高める心の教育の推進	主な事業等
①豊かな情操や道徳心を育む教育の推進 ②安心して学べる環境を実現するいじめ防止対策等の推進 ③人権を尊重し、不合理な差別を許さない、心を豊かにする教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導</li> <li>・心のバリアフリー教育</li> <li>・福祉教育</li> </ul>

【施策3】生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進	主な事業等
①体力向上を主体的に目指す子供の育成 ②子供の健康を守る学校保健の充実 ③食を通じた健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健管理</li> <li>・保健教育</li> <li>・学校給食</li> <li>・食育</li> </ul>

【施策4】共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進	主な事業等
①連続性のある「多様な学びの場」と支援の充実 ②早期からの教育相談と支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育</li> </ul>

<b>基本目標 2</b>	<b>学校の目指す姿</b>	<b>「自信」と「安心」を育む学校をつくる</b>
---------------	----------------	---------------------------

【施策5】人間形成の場としての活力ある学校づくり	主な事業等
①地域に開かれた魅力ある学校づくり ②豊かな学びを支える学校・学習環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設整備</li> <li>・水泳学習環境整備</li> </ul>



③安全・安心な学びの場づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全指導</li> <li>・通学路の安全対策</li> <li>・防犯対策</li> </ul>
-------------------	---

<b>【施策6】教育現場の重視と教員の質・教育力の向上</b>	主な事業等
<ul style="list-style-type: none"> <li>①熱意あふれる人間性豊かな職員の採用</li> <li>②信頼される質の高い教員の育成</li> <li>③教職員が子供と向き合う時間を確保するための取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の働き方改革</li> <li>・教職員の指導力向上</li> <li>・ALTの配置事業</li> <li>・部活動の地域移行</li> </ul>

<b>【施策7】多様なニーズに対応した教育の推進</b>	主な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>①不登校児童生徒の状況に応じた支援の推進</li> <li>②学びの直しなどの再チャレンジの機会の充実</li> <li>③経済的・家庭的理由など様々な困難への支援</li> <li>④外国人児童生徒等の受け入れ体制の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー配置事業</li> <li>・就学援助（奨励）事業</li> <li>・学校給食費無償化事業</li> <li>・給食食材物価高騰対策事業</li> </ul>

<b>基本目標3</b>	家庭・地域の目指す姿	家族と地域の絆を深め、全ての人が活躍できる環境を整える
--------------	------------	-----------------------------

<b>【施策8】家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進</b>	主な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>①全ての教育の出発点である家庭教育への支援</li> <li>②地域全体で子供を育てる家庭・地域と学校との協働体制の構築</li> <li>③虐待など不適切な養育から子供を守る取組の充実・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童健全育成事業（学童保育）</li> <li>・家庭教育支援</li> <li>・防災教育</li> <li>・環境教育</li> <li>・地域からの学び</li> <li>・学校評議員</li> <li>・学校運営協議会</li> <li>・世代間交流</li> <li>・青少年健全育成事業</li> <li>・子ども会育成会</li> <li>・ジュニアリーダーの育成</li> </ul>

<b>【施策9】人生100年時代を見据えた生涯学習の推進</b>	主な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>①町民への学習機会の提供</li> <li>②生涯学習の成果を生かし社会に貢献できる仕組みづくり</li> <li>③障害のある人の生涯を通じた多様な学習活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館の運営</li> <li>・まちの図書室の運営</li> <li>・創作の里の運営</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館活動</li> <li>・ 総合文化祭 (芸能音楽祭及び文化祭)</li> <li>・ 教育講演会</li> </ul>
--	--

<b>基本目標 4</b>	<b>町民の目指す姿</b>	世界を舞台に活躍する人材を育成し、「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る
---------------	----------------	--

<b>【施策 10】 郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成</b>	主な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>①郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進</li> <li>②多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成</li> <li>③文化に触れ親しむ環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会科副読本の活用</li> <li>・ 20 歳の祝典</li> <li>・ 文化活動の情報発信</li> <li>・ 文化財保護事業</li> <li>・ 一宮町歴史資料展示室の企画展示</li> <li>・ 町史編さん事業</li> <li>・ 教育功労者表彰</li> <li>・ 懸垂幕・横断幕の掲示</li> </ul>

<b>【施策 11】 「するスポーツ」「みるスポール」「ささえるスポーツ」の推進</b>	主な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>①人生を豊かにするための運動・スポーツの推進</li> <li>②ともに楽しめる障害者スポーツの推進</li> <li>③競技力の向上とスポーツ環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会体育施設の運営</li> <li>・ 生涯スポーツ</li> </ul>

## 4 各種施策の点検・評価

### (1) 評価基準

各種施策の評価基準は、次の通りです。

評価	基準	
A	目標を達成できた、または目標達成に向けて順調に進んでいる	
	(評価基準)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標を達成した</li> <li>・ 効果的で適切な取り組みを行っている</li> <li>・ 目標達成に向けて成果をあげている</li> </ul>
B	概ね目標を達成できた、または目標達成に向けて進んでいる	
	(評価基準)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ね目標を達成した</li> <li>・ 効果的な取り組みを行っている</li> <li>・ 目標達成に向けて一定の成果をあげている</li> </ul>
C	取り組みを行っている、または目標達成に向けて多少の成果をあげている	
	(評価基準)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り組みを行っている</li> <li>・ 目標達成に向けて多少の成果をあげているが、努力を要する</li> </ul>
D	目標の達成ができなかった、または目標の達成は困難である	
	(評価基準)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り組みが行われていない</li> <li>・ 目標達成に向けた効果はあがっていない</li> <li>・ 改善すべき課題がある</li> </ul>

点検・評価の客観性を担保するため、教育に関し学識経験を有する方からご意見やご助言を頂きました。ご意見等をいただいた方々のお名前は次の通りです。

氏 名	所 属・職
高 松 浩	千葉県教育庁東上総教育事務所指導室 室長
大場 謙次郎	一宮町社会教育委員 議長

## (2) 点検・評価

### 【基本目標1 子どものめざす】

#### ●施策1 人生を主体的に切り拓くための学びの確立

事業名	ブックスタート	担当課・係	教育課社会教育係 福祉健康課健康係
		評価	A
事業内容	赤ちゃんと保護者が絵本を通して親子のふれあいや絆を深めるきっかけづくりを目的として、毎月実施する0歳4か月児の乳児相談にあわせて読み聞かせを行い、絵本をプレゼントする子育て支援事業。		
現状と課題	本事業は15年目を迎え、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での開催ができない状況が続いていたが、令和5年6月からはボランティアによる読み聞かせを再開し、50名の参加があった。		
求める成果	赤ちゃんと保護者が絵本を通じて心を通わせ、健やかな成長につなげるとともに、図書室利用のきっかけを作り、子どもたちの読書活動の推進を図る。		

事業名	学校図書室環境整備	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	児童生徒の知識や技能の習得や思考力、判断力及び表現力等の育成を目的に、「学習情報」の習得の場として学校図書館の機能を向上させる。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書管理システムの導入や図書支援員を配置し、きめ細やかな図書の啓発を実施した。また、小学校図書の充実を目的とした寄付金14万円を活用し、小学校2校の図書購入費に充当した。</li> <li>・令和5年度図書購入数：東浪見小学校 78冊・一宮小学校 267冊 一宮中学校 185冊</li> </ul>		
求める成果	学校図書室の機能向上に努め、より多くの児童生徒が図書室を利用するよう読書活動の推進を図る。		

事業名	学習サポーター等派遣事業	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	A
事業内容	「学習サポーター派遣事業」や授業の質の向上に加え、教職員の負担軽減を目的とした「小学校専科非常勤講師等配置事業」を活用し、手厚い学習支援を実施する。		
現状と課題	授業における学習支援や家庭学習の充実や習慣化に向けた支援を行い、児童生徒の基礎学力の底上げや意欲向上につながった。		
求める成果	より手厚い学習支援を実施し、児童生徒の学力向上を図る。		

事業名	サマースクール	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	A
事業内容	小学生を対象とした高校生ボランティアによる個別指導を実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中に開催し、5日間で延べ376名（令和4年度281名）の児童が参加した。参加した児童はそれぞれの課題や各教科の問題に取り組み、指導に当たった高校生ボランティアと共に充実した時間を共有することができた。</li> <li>・参加費は無料とし、児童の学習意識の向上に寄与した。</li> </ul>		
求める成果	学習習慣を確立し、学力向上を図る。		

事業名	サタデースクール	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	A
事業内容	小学4・5年生を対象に算数の基礎的・基本的な補習学習や能力に応じた発展的な学習支援を実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講から9年目を迎え、土曜日に年19回実施した。児童47名（令和4年度58名）が参加し、地域住民や教職志望の高校生6名を含む16名の学習支援員と熱心に学習した。</li> <li>・参加費は無料（教材費のみ実費）とし、児童の基礎学力の向上に寄与した。</li> </ul>		
求める成果	学習意欲を高め、学力向上を図る。		

事業名	ステップアップスクール	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	A
事業内容	中学3年生を対象に数学と英語の基礎力向上とした学習支援を実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講から5年目を迎え、夏季期間中や土曜日に年31回実施した。生徒15名（令和4年度15名）が参加し、熱心に学習に取り組んだ。</li> <li>・参加費は無料とし、生徒の基礎学力の向上に寄与した。</li> </ul>		
求める成果	学習意欲を高め、学力向上を図る。		

事業名	ICT活用推進事業	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	各小中学校のICT環境を整備し、これらを適切に活用して学習活動を充実させることで、児童生徒の「情報活用能力」や「論理的思考力」を育成するとともに、メディアリテラシー教育を実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆東浪見小学校</li> <li>・ICT指導員を活用し教職員研修を実施した。また、各学年の希望に応じてタブレット端末及び電子黒板を活用した授業展開（算数・理科・外国語・道徳・総合）への補助に入るなど授業改善に努めた。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳の内容をタブレット端末で確認し記入するなど、児童がタブレットに触れる機会を意識的に増やした。</li> <li>・担任によるタブレット端末のオンラインツール活用が進み、委員会やクラブ活動等の特別活動において、児童と担任以外の教職員との連絡ツールとして用いた。</li> <li>◆一宮小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年のうちからタブレット端末に触れる機会を設けるため、令和5年度から一宮タイム（朝自習）において、週1回のタブレット端末を利用した学習を位置付けた。</li> <li>・6年生にはmicro:bit、放課後教室「学びま専科」ではLine entry等の教材を用いて学習し、物事を順序立てて思考する「プログラミング的思考」を養った。</li> <li>・SNSトラブル防止のため、4年生から6年生を対象にNPO法人企業教育研究会の講師による情報モラル教育を実施し、SNSに潜む危険性や個人情報への扱いについて学んだ。</li> </ul> </li> <li>◆一宮中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の最後に行う振り返りの時間では、タブレット端末を用いた情報（授業の考え方）の共有や意見交換、オンライン交流等において積極的に学習に使用した。</li> <li>・不登校生徒でオンライン授業を希望する家庭に、タブレット端末を貸与し、希望する教科でのオンライン授業を実施した。</li> <li>・聴覚障害を持った生徒が積極的に授業に参加できるよう、入出力装置（Live Talk）を活用した。</li> </ul> </li> <li>◆教育委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器のサポートや授業支援の充実を図るため、令和4年度に引き続き各小中学校にICT支援員を派遣した。</li> <li>・文部科学省による教育用デジタル教科書導入検証事業を活用し、各小中学校に英語（外国語）・算数（数学）のデジタル教科書を導入した。</li> <li>・令和6年度から一宮中学校は2学級増えることから、アクセスポイントを追加整備した。</li> </ul> </li> </ul>
求める成果	<p>今後もICTの発展に伴う整備をするとともに、よりタブレット端末等を活用する授業を実施しながら、「情報活用能力」や「論理的思考力」を育成し、その力を活用する場の提供を図る。また、オンラインを活用した授業を実施するなど、教室以外の学習による「学びの場」の確保を図る。</p>

事業名	生活科・総合的な学習	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	A
事業内容	児童生徒が自分たちの住んでいる町について体験を通して知ることによって自主的に課題を見つけ、探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して課題解決のための資質や能力を育成する。		
現状と課題	<p>①キャリア教育（総合）</p> <p>◆各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に職業調べを行い、職場見学を実施した。</li> </ul> <p>◆一宮中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生を対象に「職業に関する学習」として、地元企業を中心とした8つの事業所から講師を招き、教育講演会を開催した。生徒はそれぞれの職業を書籍やインターネット等で調べ、質問事項をまとめる事前学習を行った上で講演会に出席したことから、「働くこと」への理解をより明確にし、自分の適性を知ることによって進路選択の手段として学ぶことができた。また、地域の魅力に気づき、地域で働く方々とのつながりが深まる機会となった。</li> </ul> <p>②プロジェクト学習（総合）</p> <p>◆一宮小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度にスタートした「いちのみやまちづくりプロジェクト2023」を実施し、6年生はふるさとの課題とその解決方法を考えてまとめた。児童は17グループに分かれ、町内の農家や商店、自然保護団体、町役場職員等の助言を参考にそれぞれのテーマに挑戦した。また、学習した内容を11月に実施した創立150周年記念集会において、下級生や地域住民に発表した。</li> </ul> <p>③まちたんけん等の一宮町内の学習（生活科・総合）</p> <p>◆各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2・3年生がまちの商店や農家等を見聞して、地域を知る学習を実施した。</li> </ul>		
求める成果	キャリア教育では色々な職業選択を知ることによって、将来なりたい自分を明確にし、夢の実現に向けた支援を図る。プロジェクト学習では変化の激しい社会に対応し、生きていくための力となる課題解決力や判断力、コミュニケーション力の育成を図る。		

事業名	英語検定補助事業	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	<p>(公財)日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定(英検)を受験し、合格した中学生の保護者に対し、検定料を補助する。</p> <p>(年に1回限り2,000円/人)</p>		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は積極的に英検を受験し、語学力の向上に向けて努めた。</li> <li>・級が上がる毎に受験費用の負担が大きくなるが、現状では受検級に関わら</li> </ul>		

	<p>ず補助金額が一律 2,000 円であることが課題である。</p> <p>・令和 5 年度の英検合格者は以下の通り（（ ）内は昨年度実績）。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年/級</th> <th>2 級</th> <th>準 2 級</th> <th>3 級</th> <th>4 級</th> <th>5 級</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年生</td> <td>-(-)</td> <td>-</td> <td>2 人(1)</td> <td>7 人(5)</td> <td>9 人(15)</td> <td>18 人(21)</td> </tr> <tr> <td>2 年生</td> <td>-(1)</td> <td>2 人(1)</td> <td>6 人(7)</td> <td>8 人(9)</td> <td>1 人(-)</td> <td>17 人(18)</td> </tr> <tr> <td>3 年生</td> <td>-(-)</td> <td>3 人(8)</td> <td>14 人(13)</td> <td>1 人(-)</td> <td>-(-)</td> <td>18 人(21)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>-(1)</td> <td>5 人(9)</td> <td>22 人(21)</td> <td>16 人(14)</td> <td>10 人(15)</td> <td>53 人(60)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 2 級（高校卒業程度）・準 2 級（高校中級程度）・3 級（中学卒業程度）・4 級（中学中級程度） 5 級（中学初級程度）</p>						学年/級	2 級	準 2 級	3 級	4 級	5 級	計	1 年生	-(-)	-	2 人(1)	7 人(5)	9 人(15)	18 人(21)	2 年生	-(1)	2 人(1)	6 人(7)	8 人(9)	1 人(-)	17 人(18)	3 年生	-(-)	3 人(8)	14 人(13)	1 人(-)	-(-)	18 人(21)	計	-(1)	5 人(9)	22 人(21)	16 人(14)	10 人(15)	53 人(60)
学年/級	2 級	準 2 級	3 級	4 級	5 級	計																																			
1 年生	-(-)	-	2 人(1)	7 人(5)	9 人(15)	18 人(21)																																			
2 年生	-(1)	2 人(1)	6 人(7)	8 人(9)	1 人(-)	17 人(18)																																			
3 年生	-(-)	3 人(8)	14 人(13)	1 人(-)	-(-)	18 人(21)																																			
計	-(1)	5 人(9)	22 人(21)	16 人(14)	10 人(15)	53 人(60)																																			
求める成果	中学生の英検受験の機会を拡大し、英語力や英語学習の向上を図る。																																								

事業名	中学生語学研修事業	担当課・係	教育課学校教育係
		評 価	A
事業内容	英語でのコミュニケーション力や海外文化を学ぶことを目的に、1泊2日の行程で国内研修施設においてオールイングリッシュによる体験型英語学習を実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった海外交流事業の代替事業として、8月24日(木)、25日(金)の2日間、東京都立川市にある「TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS」において実施した。</li> <li>・研修には3年生10名、2年生20名の計30名が参加し、「英語力の発揮や向上」、「苦手意識の克服」等、それぞれに目的意識を持ちながら研修に挑み、シチュエーションに応じた表現やプレゼンテーションを通して相手に伝える力を養う良い機会となった。</li> <li>・平成25年度に発足した一宮町・長生村・白子町による3町村合同の中学生海外交流協議会は現地の受け入れ施設の確保が難しいことや旅費の高騰等により、事業継続は困難という結論に至ったことから8月に解散した。</li> </ul>		
求める成果	これまで学んできた知識を実践する機会により「生きた英語」を学び、英語学習の意欲向上を図る。		

●施策 2 道徳性を高める心の教育の推進

事業名	生徒指導	担当課・係	教育課学校教育係
		評 価	A
事業内容	児童生徒等の健全育成のためにしっかりと生徒指導に取り組むとともに、教育委員会と各小中学校において定期的な情報交換等を行う。		
現状と課題	<p>◆各小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校では月1回、中学校では週1回の生徒指導委員会や校内教育支援会議を実施し、校内での共通理解を図った。会議終了後には報告書を作成し、</li> </ul>		



	<p>必ず教育委員会に提出するなど情報共有の強化に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に喫緊の課題に対しては関係機関と連携を図り、ケース会議を開催するなど早急な問題解決に努めた。</li> <li>・道徳の授業や心のバリアフリー、福祉教育等において、児童生徒の道徳性を高める事業展開を実施した。</li> </ul> <p>◆教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小中学校から提出された報告書を取りまとめ、毎月開催される校長会会議で情報交換を行い、効果的な対応方法について内容の共有や指導・支援を行った。</li> </ul>
求める成果	教育委員会と各小中学校において、「細部にわたる情報共有」と「組織的な関わり」に重点置き、誰一人取り残すことのない教育を図る。

事業名	心のバリアフリー教育	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	様々な心身の特性や考え方を理解するためのパラスポーツ体験を実施する。		
現状と課題	<p>◆東浪見小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生を対象に総合的な学習の時間において「パラアスリート訪問事業」を実施し、ちばパイレーツによるシッティングバレーボールを体験した。</li> </ul> <p>◆一宮小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ活動や学びま専科においてボッチャを体験するなど、児童の関心を高める活動を実施した。</li> </ul>		
求める成果	パラスポーツ等を通じて、相互に支え合い、認め合う心を育み、共生社会の形成への理解を促進する。		

事業名	福祉教育	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	他者の生活課題を「他人事」とするのではなく、「自分事」として身近な福祉課題として意識するために、福祉体験や長生特別支援学校と交流活動を実施する。		
現状と課題	<p>◆各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生を対象に町地域包括支援センターによる、アイマスクや車いすを使用しての障害者体験や高齢者疑似体験活動を実施した。</li> </ul> <p>◆東浪見小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年ぶりに長生特別支援学校（以下「長生特支」という。）と対面での交流活動を実施した。「なかよし集会」では、東浪見小学校の児童が長生特支を訪問し、交流活動を行った。「なかよしタイム」では東浪見小学校に長生特支の児童を迎え、様々なゲームを行った。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生を対象に認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に対して正しく理解し、認知症の方とのコミュニケーションの仕方を学んだ。</li> <li>◆一宮小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長生特支の児童と居住地交流（年2回）では、特別支援学級の児童と自立活動や国語の学習、業間や休みに一緒に遊ぶなど他者のことを考えて行動する良い機会となった。</li> </ul> </li> <li>◆一宮中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居の高齢者へのプレゼントづくりと訪問学習を実施し、福祉に対する豊かな心の育成につなげた。</li> </ul> </li> </ul>
求める成果	パラスポーツ等を通じて、相互に支え合い、認め合う心を育み、共生社会の形成への理解を深める。

●施策3 生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進

事業名	保健管理	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	A
事業内容	児童生徒等の健全育成のため定期的な情報交換を実施する。児童生徒の健康診断や検査結果による速やかな医療機関への受診勧告や感染症対策を徹底する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各小中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健安全法に定められた各種検診を全児童生徒に実施し、健診結果により、要治療者に対し速やかに受診勧告を行い、早期治療につなげた。</li> <li>・小学4年生、中学1年生に実施する小児生活習慣病予防検診では、危険因子を早期に把握し、将来の生活習慣病を予防するための健康教育を行った。</li> <li>・「インフルエンザ」や「新型コロナウイルス感染症」、「ノロウイルス感染症」の感染拡大防止対策として、千葉県が策定した「学校における感染症対策ガイドライン」等に則った指導を児童生徒に行った。また、嘔吐物処理セットを各教室等に設置し、マニュアルによる速やかな対処に努めた。</li> <li>・アナフィラキシーに対する知識と対応について校内研修を実施し、エピペンの使用方法について共通理解を図った。</li> <li>・熱中症対策として、暑さ指数（WBGT）が31を超える場合は、原則外での活動を中止した。</li> </ul> </li> </ul>		
求める成果	児童生徒及び教職員の精神的・身体的健康の保持増進を図るとともに、健全な学校生活を過ごすための知識を身につける教育活動の推進を図る。		

事業名	保健教育	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	A
事業内容	思春期教室や薬物乱用防止教室、救急救命講習を実施する。		

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生を対象に2月7日(水)に思春期教室を実施した。児童は助産師を講師に招き、命の誕生や思春期の心と体の成長について学んだ。</li> <li>・東浪見小学校は1月25日(木)に、一宮小学校は1月18日(木)に外房地区少年センター(千葉県警)の講師による薬物乱用防止教室を実施し、薬物の恐ろしさについて学んだ。</li> </ul> </li> <li>◆一宮中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2・3年生を対象に「救命救急実技講習」を実施した。保健体育科の授業においても心肺蘇生法(CPR)やAEDの使用方法を学び、生徒は胸骨圧迫の手法を体得した。</li> <li>・2年生を対象に11月28日(月)に「思春期健康教室」を実施した。助産師を講師に招き、性・思春期・性交・避妊方法・心配事の相談先等について学んだ。</li> <li>・思春期の心と体、特に心の変化やストレス、命の大切さについて、学年間の連携を図り、系統性のある指導(1年:3時間 2年:3時間 3年:2時間)を実施した。</li> </ul> </li> </ul>
求める成果	<p>事故やケガに迅速に対応する力を養い、命の尊さを意識づけるとともに、命の大切さ・相手への心遣い・マナー等についてより深い理解につなげる。</p>

事業名	学校給食	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	栄養バランスのとれた学校給食を提供する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各小中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・成長期にある児童生徒に栄養バランスのとれた給食を提供した。</li> <li>・行事食や町統一献立を提供するとともに、地場産物を積極的に取り入れた。</li> <li>・教職員は食物アレルギーのある児童生徒を確認するとともに、アナフィラキシー症状発生時の対応マニュアルの確認やエピペンの使用方法についての職員研修を実施した。</li> <li>・児童生徒に除去食を渡す際には食札を付け、学級担任又は当該児童生徒に栄養士が直接手渡すなど、児童が誤ってアレルギーの食物を食することがないように工夫した。</li> </ul> </li> <li>◆教育委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食室の工事・修繕や備品を購入するなど環境整備に努めた。</li> <li>・平成24年1月から放射性物質検査器による使用予定食材のサンプル検査を実施し、検査結果をホームページで周知することで、より一層の安心・安全を確保した。</li> <li>・放射性物質検査はこれまでの検査において、基準値を超える放射性物質が検出されなかったことや教職員の業務負担の軽減を考慮し、令和5年度末</li> </ul> </li> </ul>		

	<p>で事業が終了となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生臨時交付金を活用し、給食食材の物価高騰分の補助を行ったが、令和6年度以降の物価高騰対策が課題である。</li> </ul>
求める成果	安心・安全で栄養バランスのとれた学校給食の提供を図る。

事業名	食育	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	A
事業内容	学校給食を「生きた教材」として、食の大切さや健康、食事マナーを学ぶために、給食だよりの発行や他の授業と連携したイベント等を実施。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各小中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食だよりを発行した。</li> <li>・行事食や町統一献立、また積極的に地場産物の給食を提供する際に校内放送を活用し、児童生徒が食に関する興味関心を持てるよう働きかけた。</li> </ul> </li> <li>◆東浪見小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・5年生を対象にコープみらい「食育出前講座」を実施した。児童は成長期の睡眠や食事の大切さ、自分で献立を作成し、何をどの位食べたら良いかについて学んだ。</li> <li>・3年生を対象に「おなか元気教室（ヤクルト）」を実施した。児童は腸内細菌と健康との関わりから腸の重要性や排便の大切さ、生活リズムについて学んだ。社会科「農業の仕事」の単元では、梨農家と苺農家を訪問し、栽培の様子や工夫、苦労を学んだ。</li> <li>・2・6年生を対象に日本乳業協会「わくわくミルク教室」を実施した。牛乳離れの予防を含め、牛乳が身体の成長に役立つことを学んだ。</li> <li>・4・5年生を対象に「しょうゆのもの知り博士」の出前授業を行い、日本の文化を支えてきた醤油について学んだ。</li> </ul> </li> <li>◆一宮小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内6か所の食育コーナーにおいて、毎日の給食に関する豆知識「ひとくちメモ」や「行事食や食材の説明」、「朝ごはんの大切さ」、「夏の水分の取り方」「食に関するクイズ」等を各学年の発達段階に沿った内容を掲示した。</li> <li>・3年生を対象に「正しい食事のマナー」を学ぶきっかけとして、「はしづかい名人になろう」という授業を授業参観日に実施し、学校と家庭での課題を共有した。</li> <li>・4年生を対象に生活習慣病予防検診の事後指導として、栄養教諭、養護教諭、学年担任と連携して「食事と睡眠の大切さ」について授業を実施した。</li> </ul> </li> <li>◆一宮中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科の学習において、地産地消の仕組みや食材の選択や管理の仕方について栄養士と連携し、授業を実施した。</li> <li>・2年生を対象に職業講話の学習において、「銚子丸」の社員から実際の商品</li> </ul> </li> </ul>		

	(寿司)づくりの体験学習を実施し、生徒の実践力向上につなげた。
求める成果	「食」に関する知識と選択する力を習得し、健全な食生活の実践を図る。

●施策4 共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進

事業名	特別支援教育	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	各小中学校に特別支援教育支援員等を配置するとともに、教育支援委員会において就学前児童や在籍児童生徒の情報共有を図り支援体制を構築する。		
現状と課題	<p>◆支援配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育支援員（以下「支援員」という。）を各小中学校に配置し、児童生徒の日常生活上の介助や学習支援等を行った。一宮中学校の修学旅行では支援員1名を随行させ、生徒の適正な教育活動の補助を行った。</li> <li>令和5年度支援員の配置状況 東浪見小学校1名／一宮小学校2名／一宮中学校2名</li> <li>各小中学校は支援員の増員を要望しており、他市町村と比較しても生徒児童数に対する配置人数が低い状況であるため、支援員の増員（確保）が課題である。</li> </ul> <p>◆体制の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一宮小学校では令和3年度より、毎週水曜日に大網白里特別支援学校のサテライト教室として「きこえの教室」を開催し、本校の難聴児童を含む近隣地区の児童2名が指導を受けた。</li> </ul> <p>◆連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼児教育と小学校教育の滑らかな接続を目指すため、教育委員会及び各小学校、幼児施設のより強い連携の構築（架け橋プログラム）を進めるための計画を立案した。</li> </ul> <p>◆教育支援委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会と各小中学校、長生特別支援学校、町内保育所（園）・こども園、一宮学園、東上総教育事務所、学校医、福祉健康課、子育て支援課で組織する一宮町教育支援委員会を年3回開催した。教育委員会や各小中学校等から提出された案件に対し、本人への関り方や適正な就学支援について審議・協議をした。</li> </ul>		
求める成果	一人一人の教育的ニーズを把握し、特別な配慮の下に、適切な教育を図る。		

【基本目標 2 学校の目指す姿】

●施策 5 人間形成の場としての活力ある学校づくり

事業名	学校施設整備	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	児童生徒の快適な学校生活のため、緊急性を勘案した上で各小中学校の工事や修繕、備品購入等の環境整備を実施する。		
現状と課題	<p>◆東浪見小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事：遊具（ブランコ）設置及び撤去工事／職員室エアコン更新工事 高圧受電設備改修工事</li> <li>・修繕：東側渡り廊下屋根修繕／用務員室窓枠コーキング等修繕 ガス回転釜内釜交換修繕 他 16 件</li> </ul> <p>◆一宮小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事：高圧受電設備改修工事</li> <li>・修繕：浄化槽修繕／防火設備修繕／北校舎昇降機修繕／給湯室換気扇修繕 調理室外回り網戸修繕 他 21 件</li> </ul> <p>◆一宮中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事：給食室給湯管設置工事／給食室ガスコンロ設置工事 熱風消毒保管機電源工事／検食用冷凍庫電源増設工事</li> <li>・修繕：給食室渡り廊下屋根修繕／受水槽タービンポンプ修繕 体育館引き戸鍵修繕 他 36 件</li> <li>・生徒数の増により、令和 6 年度に 2 学級増えることから、新たな普通教室の整備（ガラス及び落下防止手摺修繕）及び机椅子、給食備品（熱風消毒保管機他）を購入した。</li> <li>・施設の老朽化に伴い、年度当初から 1 年を通して非常に修繕箇所が多かった。令和 6 年度以降も同傾向が続くと思われる。</li> </ul>		
求める成果	児童生徒の学校生活に影響を及ぼすことがないように、学校施設等の整備を効率的に行い、適切な施設管理の維持を図る。		

事業名	水泳学習環境整備	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	快適で安心・安全な水泳学習の実施のため、水泳学習の外部委託や使用プールの整備を行う。		
現状と課題	<p>◆各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 2 年度から小学校における水泳学習を外部委託し、水泳学習を実施した。教職員と水泳指導員の連携により、児童一人一人に応じたきめ細かな技術指導がなされ、児童も意欲的に取り組んだ。</li> <li>・働き方改革に基づく教職員の負担軽減につながった。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望者を対象に夏季休業期間中に着衣水泳及びサーフィン体験会を実施し、100名を超える児童が参加した。水難事故への対応として身の守り方やサーフィンを学んだ。</li> <li>◆一宮中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・GSSセンターのプールを使用することから、安心・安全のためにプールの過装置や門扉の修繕を行った上で水泳学習を実施した。</li> <li>・施設の老朽化が課題であり、中学校の水泳学習外部委託の検討が必要である。</li> </ul> </li> </ul>
求める成果	児童生徒は水泳系で求められる身体能力や水中での安全に関する知識を身につけ、水の事故を未然に防ぐ思考力を育むために安心・安全な水泳学習の実施を図る。

事業名	交通安全指導	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	A
事業内容	茂原警察署や交通安全協会と連携し、各小中学校において交通安全教室を開催するとともに、学校支援ボランティア等による見守りを実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆東浪見小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年は基本的な交通ルールの説明や道路の横断の仕方、信号機の見方を、中高学年は自転車乗車時の交通ルールや標識の説明、自転車の正しい乗り方について学んだ。</li> </ul> </li> <li>◆一宮小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・3年生を対象に交通安全教室を実施し、基本的な交通ルールや横断の仕方を学んだ。（5年生は学年閉鎖により中止）</li> <li>・4年生は総合的な学習の時間に「地域安全マップを作ろう」という課題のもと、まちたんけんを通して学区内の危険箇所について調べ学習をした。自分の身を守るために、身近な通学路を見直し、不審者が「入りやすく」「見えにくい」場所を探して地域安全マップにまとめた。</li> </ul> </li> <li>◆一宮中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生を対象に自動車運転手の視点（死角）や自転車の乗り方と点検整備の仕方、交通ルール（道路交通法）遵守の必要性を学び、「自転車でも加害者になる」ことについて理解を深めた。</li> </ul> </li> <li>◆教育委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティアによる児童生徒の交通安全支援活動やPTAの地区役員や歴代役員と教職員が連携し、定期的な交通安全指導を実施した。</li> <li>・「七歳児合同祝」の式典は実施しなかったが、対象者に千歳飴と町交通安全協会による交通安全グッズの記念品を贈呈し、交通安全の啓発を図った。</li> <li>・一宮町社会を明るくする運動推進委員会の活動として定期的に青色防犯パトロール車（青色回転灯装備車）による巡回を実施した。</li> </ul> </li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町部局と連携し、町が宣言した「Slow for Kids」の看板設置や防災無線を活用して、保護者や地域住民に周知した。</li> <li>※Slow for Kids 宣言：子どもたちの安全・安心を守るため、子どもの近くを車で走る際、できるだけゆっくりとした速度（目安 20 キロ以下）で通過する一宮町のローカルルールをドライバーに呼びかけるもの。</li> </ul>
求める成果	交通安全に対する知識・理解を深め、児童生徒の交通事故の防止を図る。

事業名	通学路の安全対策	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	一宮町通学路安全推進委員会議を開催し、委員による通学路の点検を実施する。令和3年6月に千葉県八街市で発生した交通事故の教訓からより重点的に取り組む。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月28日（金）、教育委員会及び茂原警察署、町交通安全対策協議会、長生土木事務所、町総務課、町都市環境課、各小学校安全担当主任、各小学校PTA代表者で構成する一宮町通学路安全推進委員会議を開催し、重点課題を設定した上で通学路合同点検を実施した。</li> <li>・各小学校等から指摘された東浪見地区4箇所、一宮地区2箇所の危険箇所を重点的に点検した。</li> <li>・教育委員会から現場踏査の結果（要望事項）を関係機関に通知し、「学童注意」という路面標示や段差の解消、防御杭の設置等の安全対策を講じた。</li> </ul>		
求める成果	通学路における交通安全を一層確実に確保し、児童の安全確保に万全を期す。		

事業名	防犯対策	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	児童生徒の安全な下校のため、地域住民による見守りや防犯パトロールを実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全や防犯対策のため集団下校を実施した。</li> </ul> </li> <li>◆教育委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・青色防犯パトロール車（青色回転灯装備車）でパトロールを実施した。不審者情報が寄せられた場合には、パトロールの回数を増やすなど見回りを強化した。</li> <li>・地域住民や団体、PTA等に防犯パトロール時に着用する「反射ベスト」や車に貼る「マグネット」を配付した。</li> <li>・各小中学校と警察連絡協議会が連携し、長期休業中の地域の見守り活動を実施した。ケースによっては児童相談所等の関係機関で成育歴や家庭環境、</li> </ul> </li> </ul>		



	生活態度等の問題についてその原因や対策を話し合う会議を開催する。
求める成果	児童生徒の下校時や長期休業中の安全の確保及び非行防止を図る。

●施策6 教育現場の重視と教員の質・教育力の向上

事業名	教職員の働き方改革	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	教職員が心身ともに健康を保つことが出来る環境を整え、児童生徒の成長に必要な教育活動を図るため、ハード・ソフト両面から教職員の業務負担の軽減を実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I Cカード等による出退勤記録の実施や長期休業中の学校閉庁日(5日)、留守番電話の設置を行い、ノー残業デーとあわせてノー部活デー(部活動ガイドライン)を設けた。</li> <li>・ 教員の在校等時間の上限方針を策定し、教員が勤務時間外に在校する時間を原則として月45時間以下、年間360時間以下とする方針を定め、教職員の長時間勤務の解消に取り組んだ。月平均超過勤務状況は各小中学校ともに45時間以下となっているが、職種や担当別では45時間以上の教職員がいる状況である。</li> </ul> <p>※令和5年度月平均超過勤務状況</p> <p>東浪見小学校 44時間18分      一宮小学校 37時間28分</p> <p>一宮中学校 39時間22分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町非常勤講師(小学校:算数 中学校:英語)2名及び特別支援教育支援員5名を各小中学校に配置するとともに、県教育委員会派遣によるスクール・サポート・スタッフも3校全てに配置した。</li> <li>・ 令和6年度中に教職員の負担軽減につながる校務支援システムの導入を予定している。</li> </ul>		
求める成果	教職員自ら勤務時間を把握し自覚することで業務の見直しと改善を図るとともに、支援員等の配置による教職員の業務負担の軽減を図る。		

事業名	教職員の指導力向上	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	教職員の資質・能力の向上を目的に一宮町小・中学校教職員研究協議会における校内研修や指導主事要請訪問等を実施する。また、教師一人一人が「主体的・対話的で深い学び」を意識しながら児童生徒の発達段階や実態に応じた学習指導を展開する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東上総教育事務所の管理主事を講師に不祥事根絶対策研修会を実施した。</li> <li>・ 筑波大学大学院教授 吉田正人氏を講師に「一宮町の生物と文化の多様性～自然豊かな町の創り手の育成～」についての講演会を開催した。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>各小中学校での校内授業研究や町内異校種学校間での相互授業参観を実施した。</li> <li>東上総教育事務所指導主事要請訪問を東浪見小学校は3回、一宮小学校は4回、一宮中学校は各教科で合計9回実施し、指導力向上に努めた。</li> </ul>
求める成果	教職員の資質・能力を高めることで児童生徒の学力や学習意欲の向上を図る。また、各種研修等により教職員の不祥事防止に対する意識向上を図る。

事業名	A L T 配置事業	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	児童生徒の外国語や海外文化への興味や関心を高めるために、各小中学校にA L Tを配置する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>東浪見小学校と一宮小学校で1名、一宮中学校1名の合計2名のA L T（外国語指導助手）を配置した。</li> <li>担任とA L Tが連携しながら、児童生徒が外国語や海外文化を身近に感じられるような授業を展開した。</li> </ul>		
求める成果	各小中学校にA L Tを配置し、外国語活動や英語学習の理解と習得を図る。		

事業名	部活動の地域移行	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	教職員の働き方改革の一環として、小学校は部活動の見直し、中学校は国・県の方針に基づき、休日の部活動を段階的に地域クラブ活動へ移行するための取り組みを実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆東浪見小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度限りで球技・金管・体操の各部活動を廃止した。</li> <li>記録会のある体操部以外の部活動は校内発表や地域クラブチームとの交流試合の最後に活動を終了した。</li> </ul> </li> <li>◆一宮小学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>長生郡市内の各種大会が廃止・規模縮小となる中、部活動の見直しを行い、4月から6月までの陸上部の活動のみとした。</li> <li>児童の幅広いニーズに応えるため、令和4年度に引き続き、教育課程外の放課後教室「学びま専科」（週2回）を実施した。児童は担任以外の教員による発展的な指導を受け、充実した放課後教室となった。</li> </ul> </li> <li>◆一宮中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日及び日曜日の部活動では保護者や地域住民による指導が増えた。</li> <li>部活動指導員ではないが、学校独自による外部指導員を配置した。</li> </ul> </li> <li>◆教育委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>改革推進期間初年となる令和5年度は、部活動地域移行長生郡市連絡会を</li> </ul> </li> </ul>		

	実施し、市町村を越えた広域連携の在り方について協議を重ねた。また、地域移行推進協議会の設置準備を進めるとともに、専用ホームページを開設し、地域移行の背景やスケジュール等について広く周知した。
求める成果	児童生徒、保護者、教職員の部活動に対する意識や地域移行への考え等について現状を把握・分析し、よりニーズにあった地域のスポーツ文化活動の実施環境の形成を図る。

●施策7 多様なニーズに対応した教育の推進

事業名	スクールカウンセラーの配置	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	A
事業内容	県教育委員会から派遣され、各小中学校に配置されるスクールカウンセラーを活用し、いじめや不登校等の早期発見・早期対応することで学校全体を支援する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーは東浪見小学校に月1回、一宮小学校に月2回、一宮中学校に週1回派遣された。</li> <li>・東浪見小学校では66時間、一宮小学校では102時間、一宮中学校では210時間にわたり相談が行われた。</li> <li>・一宮中学校の全生徒はスクールカウンセラーと最低1回の面談を行い、気軽に面談できる体制を構築した。</li> <li>・相談内容の多くは不登校や対人関係であるが、学業や進路に加えて心身の健康、家族についての相談もあった。なお、児童生徒だけでなく保護者や教職員の相談にも対応しており、相談希望が多いことから派遣日数の増加を要望している。</li> <li>・児童生徒や家族への支援のため、訪問相談員やスクールソーシャルワーカーが相談に対応することもあり、保護者の負担軽減につながった。</li> </ul>		
求める成果	児童生徒の悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能や教育相談体制の充実を図る。		

事業名	就学援助（奨励）事業	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒や、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学用品費や学校給食費などの一部を補助する。		
現状と課題	<p>◆就学援助事業（就学援助費）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は要保護認定者1名、準要保護認定者56名の就学援助を行った。（令和4年度：要保護認定者2名、準要保護認定者61名）</li> <li>・入学説明会や毎年度の進級時での書類の配付やホームページの活用により、制度を周知した。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助項目のうち「入学準備金」は、入学前に支給するよう努めた。</li> <li>◆就学奨励事業（特別支援教育就学奨励費）</li> <li>・令和5年度は認定者10名（令和4年度：認定者9名）</li> <li>・令和6年4月から区域外就学により他市町村の小中学校に通学する児童生徒も対象になるよう一宮町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正を行った。</li> </ul>
求める成果	学校生活を支援する就学援助等により、児童生徒が安心して教育を受けられるよう支援の充実を図る。

事業名	学校給食費無償化事業	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	保護者が扶養している子の年齢が上から3番目以降の子の義務教育期間における学校給食費の無償化を実施する。（新規事業）		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度の補助対象者は小学生72名、中学生27名。</li> <li>・小学生は1食当たり270円、中学生は1食当たり300円の補助を行った。</li> <li>・学校給食費の未納者は対象外になることから、滞納整理に繋げることができた。</li> <li>・完全無償化の実現に向け、制度の拡充や完全無償化について国・県に対し要望するとともに、町でも実施に向けた検討が必要である。</li> </ul>		
求める成果	子育て世帯に対する経済的な負担軽減を図る。		

事業名	給食食材物価高騰対策事業	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	A
事業内容	地方創生臨時交付金を活用し、給食食材の物価高騰部分に対して支援する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は1食当たり50円を支援した。（令和4年度：30円）</li> <li>・令和6年度以降の実施について検討が必要である。</li> </ul>		
求める成果	子育て世帯に対する経済的な負担軽減を図る。		

### 【基本目標3 家庭・地域の目指す人】

#### ●施策8 家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進

事業名	放課後児童健全育成事業（学童保育）	担当課・係	子育て支援課子育て支援係
		評価	B
事業内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後の適切な遊びや生活の場を提供する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一宮学童保育わんぱくクラブ（一宮小学校内）、東浪見学童保育わんぱくクラブ（東浪見小学校内）の2箇所を実施した。</li> <li>・令和5年度末の学童保育登録者数( )内は令和4年度末</li> </ul>		

	区 分	一宮学童	東浪見学童	計
	登録者数	141人(134人)	46人(49人)	187人(183人)
求める成果	・利用希望者数に対し、支援員の不足が課題であったことから、令和6年度から本事業を民間委託することとなり、業者選定等に向けて準備を行った。 放課後の児童の安心安全な場所の提供及び保護者への支援を図る。			

事業名	家庭教育支援	担当課・係 評 価	教育課学校教育係 A
事業内容	学校と保護者が連携しながら家庭教育に関する取り組みを実施する。		
現状と課題	<p>◆東浪見小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の充実のため、児童に対し毎日「学年×10分」を目安とした自主学習を促した。</li> <li>「家庭学習がんばりカード」を活用し、学習していることを可視化し、保護者とともに児童の頑張りを認め、励ますことができるよう工夫した。</li> </ul> <p>◆一宮小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の協力を得ながら、平日の家庭の過ごし方について学習面と生活面の実態調査を行った。家庭学習の時間とスマートフォンやゲームの時間等を学校と家庭とで共有し、「学年×15分」を目標に同一歩調を進めた。</li> <li>3学期からは「一宮小リレーノート」を開始し、4～5人組を1班とし、家庭学習ノートをローテーションとして他者の学習内容や学習方法を学び、家庭学習に活かした。</li> </ul> <p>◆一宮中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度入学予定者の保護者に対し、スマートフォン安全利用教室を実施した。すでに身近になっている携帯電話やスマートフォンの正しい使い方や個人情報の漏洩等の被害の実態、生活習慣が子どもに与える影響を共有し、家庭での対応について説明した。</li> </ul>		
求める成果	正しい生活習慣を身に付け、家庭学習の充実等につなげるために家庭教育の支援を図る。		

事業名	防災教育	担当課・係 評 価	教育課学校教育係 A
事業内容	各家庭において災害時の避難経路や避難場所を確認し、防災意識を高めるために、毎年「津波・地震に対する対応について」の配付やアンケートを実施する。		
現状と課題	<p>◆各小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な防災訓練において、児童生徒が災害における危険を認識し、自らの</li> </ul>		

	<p>安全を確保することができるよう訓練を実施した。</p> <p>◆教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の全家庭に「津波・地震に対応について」を配付するとともに、「津波からの緊急避難場所確認アンケート」を実施し、アンケートの集計結果を各小中学校に情報提供した。</li> </ul>
求める成果	各家庭において避難場所や避難時の問題点を再認識するとともに、防災教育の一層の充実を図る。

事業名	環境教育	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	環境に関する様々な取り組みを随時紹介するなど環境教育活動に取り組む。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育や自然保護等を目的とした一宮ネイチャークラブは町の山間部の松子地区で無農薬による米作りや動植物の自然観察会、収穫祭等の活動を実施しており、教育委員会ではそのクラブ活動内容やイベント情報を町広報誌やホームページで毎月紹介した。</li> <li>・町では環境保全・維持に努めるため令和6年度に生物文化多様性計画を策定することから、教育委員会も計画策定に携わる予定である。</li> </ul>		
求める成果	幅広い年代が楽しめる環境に関する様々の取り組みを紹介することで、環境教育の推進を図る。		

事業名	地域からの学び	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	A
事業内容	地域の環境や人材等を有効に活用した教育活動を実施する。		
現状と課題	<p>◆東浪見小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全児童を対象に毎週火曜日に学校支援ボランティア(13人)による「読み聞かせ」を実施し、理解力や集中力を養い、読書活動の推進につなげた。</li> <li>・1年生と6年生を対象に「入学おめでとう読み聞かせ」「卒業おめでとう読み聞かせ」を実施した。</li> <li>・長生農業振興事務所や東浪見地区農業士会と連携し、東浪見こども園と合同で学校内の畑でサツマイモを栽培し、学校給食の食材に利用するなど食育の推進につながった。</li> <li>・一宮ネイチャークラブと連携し、松子地区での稲作体験や農家等の見学を実施した。</li> </ul> <p>◆一宮小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年生の生活科の学習において「まちたんけん」を実施し、城山公園や玉前神社を訪ね、自然を体感しながら地域の様子を学んだ。</li> <li>・6年生の総合的な学習の時間における「いちのみやまちづくりプロジェクト</li> </ul>		

	<p>ト 2023」の取り組みの中で、町や一宮小学校の歴史・文化を知るために教育委員会や地域住民、保護者へのインタビューや現地調査を行い、地域から多くのことを学んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船橋市立一宮少年自然の家主催による一宮通学合宿が2月7日（水）から10日（土）までの3泊4日で開催され、5・6年生の児童21名が参加した。メインとなる「献立決め」「買い物」「調理」は、児童と学生ボランティアスタッフが協力して見事に完成するなど、地域と連携しながら「生きる力」を身に付ける機会となった。</li> </ul> <p>※通学合宿…子どもが親元を離れ、集団生活を通して自分たちの力で食事の準備や洗濯、掃除等を行いながら学校に通う活動。</p> <p>◆一宮中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉面や道德実践力向上において、地域からの学びを設定し、独居高齢者宅への訪問学習等を実施した。「自分も地域の一員」という自覚を育てる機会となった。</li> </ul>
求める成果	地域のとの関りを深め、より一層の教育活動の充実を図る。

事業名	学校評議員	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	A
事業内容	学校評議員の幅広い意見や学校関係者評価を学校運営に反映させ、次年度への改善につなげる。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会は、各小中学校長の推薦により一宮小学校及び一宮中学校の学校評議員それぞれ3名を委嘱した。</li> <li>・学校評議員は保護者、地域住民、有識者で構成されており、教育活動等についての意見があった。</li> <li>・令和6年度には両校共にコミュニティ・スクールを導入することから、令和5年度で本制度は廃止となった。</li> </ul>		
求める成果	家庭や地域との連携を深め、より良い教育活動の推進を図る。		

事業名	学校運営協議会	担当課・係	教育課学校教育係
		評価	B
事業内容	学校運営協議会による学校基本方針の承認のほか、学校運営に関わる様々な事項や課題解決に向けた意見及び学校関係者評価を学校運営に反映させ、次年度への改善につなげる。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会は東浪見小学校の学校運営協議会委員5名を委嘱し、事務局として年4回の会議を開催した。会議では学校基本方針を承認し、様々な意見交換を行った。</li> <li>・東浪見小学校では児童の様子を委員に報告するとともに、学校の課題をテ</li> </ul>		

	<p>一マにした意見交換の時間を設け、解決策について活発な意見交換を行うことができた。また、2月の会議では学校関係者評価を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度から一宮小学校及び一宮中学校はコミュニティ・スクールを導入することから、関連する規則や要綱の新規制定や一部改正及びガイドライン等を策定し、各小中学校と共有した。</li> <li>・12月13日(水)には、千葉県教育庁や千葉県CSアドバイザーを講師に招き、各小中学校の管理職や教務主任、教育委員会職員を対象とした研修会を開催した。</li> <li>・学校と委員とが学校運営のビジョンを共有し、各委員は当事者意識を持ちながら学校の魅力や課題を明確化し、課題解決に向けた協議会運営が必要である。</li> </ul>
求める成果	<p>家庭や地域との連携を深め、保護者や地域住民が一定の権限を持って学校運営に参画することで、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、より良い教育の実現を図る。</p>

事業名	世代間交流	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	町事業の運営に際し、中学生によるボランティアを活用することで世代間交流を活性化する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、芸能音楽祭の中学生ボランティアを4年ぶりに募集し、6名の生徒が司会進行やステージ係を担い、当日の運営に参加した。</li> <li>・幅広い年代が出演する芸能音楽祭では出演者と中学生ボランティアや来場者がコミュニケーションを取ることで、芸能音楽祭を成功に導き、地域住民の交流が深まった。</li> </ul>		
求める成果	地域において世代を超えたつながりや相互理解を深め、豊かな人間性の育成を図る。		

事業名	青少年健全育成事業	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	青少年相談員が中心となり、親子や友人と触れ合う機会を提供する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月21日(土)に自然活動として「アンデルセン公園であそぼう」というイベントを開催し、70名の親子が参加した。</li> <li>・2月10日(土)はいちご狩り体験を開催し、120名の親子が参加した。</li> <li>・県青少年相談員連絡協議会長生地区主催「少年の日・地域のつどい大会」では長生地区の子どもたちがトレジャー鬼ごっこを行い、一宮町からは12名が参加して親睦、友情を深める機会となった。</li> </ul>		



求める成果	様々なイベントを通して、親子の絆を深め、友人とのふれあいや地域住民の交流の場の提供を図る。
-------	---

事業名	子ども会育成会	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	子ども会育成会の活動により、子どもたちの健やかな成長のための体験の場を提供する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船橋市立少年自然の家でのファミリーキャンプやハロウィンパレード、クリスマス会を開催した。</li> <li>・令和5・6年度は町が千葉県子ども会連合会長生支部の事務局となっている。8月に交歓交流会を開催し、新浜海岸での地引網体験には約120名の親子が夏空のもと九十九里浜の伝統的な漁を楽しんだ。</li> </ul>		
求める成果	文化活動や様々な体験の場を作ることによって子どもたちの健やかな成長の促進を図る。		

事業名	ジュニアリーダーの育成	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	子ども会活動の活性化のため、ジュニアリーダーとして高校生や中学生を育成する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月9日(土)・10日(日)に長柄町の千葉市少年自然の家でジュニアリーダー初級認定講習会を開催し、小学生30名が参加した。</li> <li>・参加者は軽スポーツやクラフト、野外炊飯等の体験を通して、子ども会活動を担うリーダーとしての役割を学んだ。</li> </ul>		
求める成果	社会性・協調性・自主性を養い、ジュニアリーダーの役割や心得を学び、子ども会活動の推進を図る。		

●施策9 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

事業名	中央公民館の運営	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	生涯学習の推進のため、老朽化した中央公民館の環境整備を実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築50年が経過し、老朽化が進んでいる中央公民館の今後の対応方法等について、本施設を定期的に利用する団体の意見等を把握するためにアンケート調査を実施した。</li> <li>・中央公民館の整備に向け、近隣市町村の施設視察や工事内容等を確認し、資料収集等を行うなど事業推進に向けた基盤づくりを進めた。</li> <li>・令和6年度は中央公民館建設検討委員会を立ち上げ、住民の意見を十分に踏まえた基本計画の策定を目指す。</li> </ul>		

求める成果	老朽化した中央公民館等の改修等を行い、住民の生活文化の振興や社会福祉の増進を図る。
-------	---

事業名	まちの図書室の運営	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	子どもから高齢者、中央公民館や役場利用者も立ち寄れる開かれた環境を作り、図書室の利用促進のために特集コーナーや特別展示等を随時実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書室の新刊について、毎月の町広報誌で周知した。</li> <li>・ 季節に合わせた展示や本屋大賞、芥川賞等の受賞作、社会情勢や話題になった出来事に関する本の特集コーナーを随時設置し、図書室の利用促進を図った。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、年間利用者は令和4年度と比較して約500人、貸出冊数は約1,000冊増加した。</li> <li>・ 学芸員の協力のもと、一宮町一宮字老女子に居を構え、グリム童話を翻訳して日本に紹介したドイツ文学者である金田鬼一の特集展示を行い、展示パネルやグリム童話に関する様々な書籍を揃えて利用者の関心を集めた。</li> <li>・ 利用者はまちの図書室に設置している図書管理システムによる蔵書検索が可能であるが、今後はスマートフォン等を活用した検索や貸出手続きについて検討していく。</li> </ul>		
求める成果	まちの図書室の利用を促し、生涯を通じた読書活動の推進を図る。		

事業名	創作の里の運営	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	創作の場として地域住民に貸し出すとともに、施設管理や環境整備を行う。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 陶芸や染色等の創作活動のために多くの人々に利用されており、導入から30年以上が経過した陶芸窯の入れ換えを実施し、芸術創作活動を推進した。</li> <li>・ フリースペースの多目的室は会議や講座等、幅広く活用された。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、年間利用者は令和4年度と比較して約300人、利用件数は約70件増加した。</li> <li>・ 敷地内の草刈りや清掃等は教育委員会だけでなく、利用者も積極的に行っていた。</li> </ul>		
求める成果	住民の利用や施設の活用を推進し、環境整備や利用促進を図る。		

事業名	公民館活動	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	生涯学習の場を提供するため、中央公民館において各種教室や講座を開講する。		

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「手話教室」「寄せ植え教室」「崇文館（すうぶんかん）歴史講座」及び令和5年度は新たに「ペン習字教室」を開催し、4教室合計約50名の受講者の参加があった。</li> <li>・町の歴史を学ぶ「崇文館歴史講座」は3年目を迎え、生涯学習施設として幅広い年代の利用促進を図った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症蔓延前（令和元年度）と比較して公民館登録サークルは10団体減少したが、令和5年度は33団体のサークルが年間を通して活発に活動した。</li> </ul>
求める成果	公民館活動が住民の生きがいの1つとなるよう生涯学習の場を提供し、施設利用の促進を図る。

事業名	総合文化祭（芸能音楽祭及び文化祭）	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	生きがいと文化・交流活動の推進のため、一宮町文化協会と共催事業として総合文化祭を開催する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸能音楽祭は令和4年度よりも2団体多い11団体が出演し、文化祭は6団体多い27の個人・団体が出展した。</li> <li>・文化祭では新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた体験コーナーが4年ぶりに再開され、茶道の実演やゲーム、太極拳、水墨画体験を実施した。</li> <li>・総合文化祭全体での入場者も約200人増加し、芸術創作活動を通して地域住民の交流が盛んに行われた。</li> <li>・令和4年度に比べ出展団体や参加者は増加傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症蔓延前の水準には至っていないことから、今後の周知方法が課題である。</li> </ul>		
求める成果	学習成果の発表や参加体験の機会を通じて、生涯学習の推進と文化活動の活性化を図る。		

事業名	教育講演会	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	町の将来を担う子どもの未来を考える機会の提供を目的に、教育講演会を開催する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月3日（日）、本を通して子どもたちの想像力や好奇心を育み、心身の健全な育成を図るため、「子どもと本のおはなし」をテーマに教育講演会を開催した。</li> <li>・第1部では20年に渡り読み聞かせボランティアを続けているグループ「一宮町絵本とおはなしの会・赤とんぼ」によるおはなし会（パネルシアター・</li> </ul>		

	<p>大型絵本・大型紙芝居・手遊び等) を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2部では長年、子どもの読書活動に取り組んでいる東上総教育事務所 三橋礼子主席指導主事による「子どもと読書」をテーマにした講演を行った。</li> <li>・幼児から高齢者まで約40名が参加し、人生を豊かにする本の大切さを学んだ。</li> </ul>
求める成果	新たな学びや取組のきっかけ作りを提供し、生涯学習の推進を図る。

#### 【基本目標4 町民の目指す姿】

##### ●施策10 郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成

事業名	社会科副読本の活用	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	A
事業内容	郷土を大切にする児童の育成につなげるために、社会科副読本を児童に配付する。		
現状と課題	町の歴史文化・自然環境・人々の営み等を学習する際の副読本として、各小学校の3・4年生の児童に「わたしたちの一宮」を配付し、社会科や総合的な学習の時間等で活用した。		
求める成果	郷土一宮の歴史や地理的環境等の学習において、貴重な資料を活用しながら、郷土を大切にする児童の育成を図る。		

事業名	20歳の祝典	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	A
事業内容	20歳の有志による実行委員会と教育委員会の協働による20歳の祝典を開催する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年の民法改正に伴い、成年年齢が18歳に引き下げられたが、町では成人式と同様に20歳を対象とした。</li> <li>・対象となる20歳の有志が実行委員会を立ち上げ、記念品の選定や運営、会場装飾等を企画し、20歳の祝典を開催した。</li> <li>・1月7日(日)に開催された式典には101名が参加し、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、従前の状態に近い形で開催することができた。</li> </ul>		
求める成果	生まれ育った地域で式典を開催し、故郷の特色等の再認識を図る。 20歳を迎えた人々が中心となって式典を運営することで、大人社会の一員としての自覚や自立を促す機会の提供を図る。		

事業名	文化活動の情報発信	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	町広報誌やホームページ等を活用し、文化関係の情報を積極的に発信するとともに関係団体の活動紹介の機会を設ける。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文化祭」や「芸能音楽祭」では文化関係団体の活動紹介の場を提供した。</li> <li>・町の偉人や功績、町に関わりのある歴史上の人物を後世に継承するため、学校教育においては積極的に学びを取り入れ、また公民館活動の一環として歴史講座や文化財講座等を開催した。</li> <li>・町の歴史を観光資源として活用するため、史跡看板の状況の把握に努めた。劣化が激しい既存看板や新規に文化財指定された史跡の看板設置等、令和6年度以降順次建て替えを検討する。</li> </ul>		
求める成果	地域住民の文化活動をより活発化するとともに、啓発活動により文化活動の振興につなげる。		

事業名	文化財保護事業	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	A
事業内容	町の歴史文化や文化財の調査研究と文化財保護に努める。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内だけでなく、町外に所在する町の関係資料調査を積極的に進めた。</li> <li>・地域の歴史・文化を紹介する文化財講座を4回開催し、合計86名の参加者が集まった。令和4年度の歴史講座では全国的に注目された町の郷土の偉人を取り上げたことから、町外や県外からの多数の問い合わせがあるなど、町や周辺地域の魅力を広く伝えることができた。講座内容は以下の通り。 第1回 江戸時代の九十九里地域の地震・津波被害（外部講師） 第2回 江戸時代の村と百姓（外部講師） 第3回 「玉前神社社家日記」の世界（教育委員会学芸員） 第4回 名人彫物師・島村圓鉄とその周辺（外部講師）</li> <li>・毎月の町広報誌では、偶数月に「一宮ゆかりの人々」、奇数月に「一宮町の文化財」を紹介する文化財コラムを連載しており、8年目を迎えた。</li> <li>・2023年は郷土の偉人・加納久朗の没後60年にあたることから、「加納久朗没後60年 ワレワレハ千葉県ノタメニ 千葉県ハ日本ノタメ 日本ハ世界ノタメ」と題した特集コラムを掲載した。</li> <li>・文化財の興味・関心を高めるために積極的に広報・啓発活動に取り組み、町の文化活動が様々な媒体で紹介された。</li> </ul>		
求める成果	文化財の保護活用を進め、伝統文化の継承につなげる。		

事業名	一宮町歴史資料展示室の企画展示	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	A
事業内容	町の歴史の調査研究の成果並びに町の文化財が町内外の方々の目に広く触れる機会として企画展示を行う。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町には博物館・資料館施設及び文化財の収蔵施設がなく、町の“たから”である文化財に人々が触れることができる機会が限定的である。</li> <li>・令和3年度より中央公民館2階ロビーを「一宮町歴史資料展示室」として開室している。温湿度管理ができないことから年4回展示を入れ替えるなど、見学者が飽きずに楽しめる企画展示を開催した。令和5年度の実施事業は以下の通り。 第1回「一宮藩と一宮県」（4月21日～7月10日） 第2回「加納久朗没後60年【前期展示】加納久朗と国際社会」（7月28日～10月2日） 第3回「加納久朗没後60年【後期展示】戦後日本と加納久朗」（10月20日～12月25日） 第4回「一宮城～戦国を駆け抜けた「境目」の城～」（1月19日～3月25日）</li> <li>・第2回の企画展示より芳名簿を設置し、来訪者数の把握に努めた。未記帳者も多いが、参考数値として掲載する。 第2回：47名 第3回：22名 第4回：82名</li> </ul>		
求める成果	文化財の普及啓発と町民の方々が文化財に触れ親しむ機会を創出する。		

事業名	町史編さん事業	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	A
事業内容	新編一宮町史発行に向けて調査研究を実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和39年（1964年）に刊行された『一宮町史』の再編に向け、令和4年10月に町内外の有識者による「編さん委員会」を設置し、令和13年度中の完成を目指して調査研究を行った。</li> <li>・町史編さん事業の周知の一環として、『一宮町歴史叢書第2集 川城昭一氏収集文書調査報告書』を3月に刊行した。「川城昭一氏収集文書」は旧「一宮町史」の編さんにも携わった川城氏が収集した文書群で、江戸時代の一宮地域をうかがい知ることができる貴重な古文書が多く含まれており、それらを紹介する報告書を作成した。</li> <li>・令和4年度から開催している一宮町史編さん講座では、3月2日（土）に「東上総の戦国時代」と題して、町史編さん委員である敬愛大学特任教授の滝川恒昭氏を講師に開催し、町内外から67名の参加があり、盛会裏に終えることができた。</li> </ul>		

	・マスメディア等を活用しながら随時、活動状況を発信し、地域の人々が関わることができる編さん事業として調整を図っていく。
求める成果	文化財の保護活用を進め、伝統文化の継承につなげる。

事業名	教育功労者表彰	担当課・係	教育課学校教育係 社会教育係
		評価	A
事業内容	町における教育、学術及び文化の振興に関し功績の著しい個人や団体を表彰し、賞状又は感謝状を授与する。		
現状と課題	<p>・3月26日(火)、一宮町教育功労者表彰式を開催し、受賞者に表彰状を授与した。受賞者は以下のとおり。</p> <p><b>【表彰状】</b></p> <p>①一宮中学校3年 <sup>たかはら いちこ</sup> 高原 一子 令和5年度千葉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール 千葉県教育長賞</p> <p>②一宮小学校3年 <sup>じんま すざく</sup> 神馬 朱桜 第23回千葉県小学生空手道選手権大会 小学3年女子組手 準優勝</p> <p>③一宮小学校3年 <sup>じんば いお</sup> 神馬 李桜 第23回千葉県小学生空手道選手権大会 小学5年女子形 準優勝</p> <p>④一宮中学校1年 <sup>いわさ かほみ</sup> 岩佐 夏帆美 令和4年度スポーツ庁長官賞争奪日本生命杯 第2回全日本少年少女空手道選抜大会 女子団体形 第7位</p> <p>⑤一宮中学校2年 <sup>いしやま たいち</sup> 石山 汰一 第57回全日本サーフィン選手権大会 ボーイズクラス ベスト8</p> <p>⑥一宮中学校2年 <sup>ほらだ こあ</sup> 原田 来愛 第57回全日本サーフィン選手大会 ロングボードウィメンクラス 準優勝</p> <p>⑦一宮中学校3年 <sup>ふじた まひる</sup> 藤田 真姫琉 令和5年度JOCジュニアオリンピックカップ ジュニアクイーンズカップ・レスリング選手権大会 女子フリースタイル U15の部 73kg級 第1位</p> <p>⑧千葉県立長生高等学校2年 <sup>すずき すばる</sup> 鈴木 駿星 JOCジュニアオリンピックカップ 第17回U18陸上競技大会 男子ハンマー投げ 優勝</p> <p>⑨大原 <sup>おおはら さり</sup> 沙莉 2023IBC(ボディーボード)ワールドツアー 総合優勝(ワールドチャンピオン)</p> <p>⑩岩見 <sup>いわみ てんし</sup> 天獅 ISAワールド・ジュニア・サーフィンチャンピオンシップ 団体1位・個人4位</p>		

	<p>①稲葉 玲王 第4回ジャパンオープンオブサーフィン大会 優勝</p> <p><b>【感謝状】</b></p> <p>①渡邊 恵之助 一宮町教育委員会委員（平成23年度～令和5年度） ②伊藤 澄夫 一宮町立東浪見小学校長（令和3年度～令和5年度） ③永野 真仁 一宮町立一宮小学校長（令和元年度～令和5年度） ④豊田 武文 一宮町立一宮中学校長（令和4年度～令和5年度） ⑤町田 裕子 一宮町立東浪見小学校学校医（昭和46年度～令和5年度） 一宮町立一宮小学校学校医（平成9年度～令和5年度） 一宮町立一宮中学校学校医（昭和54年度～平成27年度） ⑥森田 徹男 一宮町文化財審議委員（平成24年度～令和5年度） ⑦御園生 長生 一宮町スポーツ推進委員（平成15年度～令和5年度） ⑧林 秀松 書「客中行」寄贈（令和5年10月） ⑨堀越 保二 絵画「波濤虹霓」寄贈（令和5年12月）</p>
求める成果	町の教育、学術及び文化における功績を称え、生涯学習の推進を図る。

事業名	懸垂幕・横断幕の掲示	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	A
事業内容	スポーツや文化の分野で優秀な成績を収めた個人や団体の懸垂幕又は横断幕を作成し、役場前に掲示する。		
現状と課題	<p>・令和5年度はスポーツ分野における全国大会優勝やワールドチャンピオン、オリンピック出場が決定した選手の功績を称えて懸垂幕等を掲示した。</p> <p><b>【懸垂幕】</b></p> <p>①一宮中学校3年 藤田 真姫琉 令和5年度JOCジュニアオリンピックカップ ジュニアクイーンズカップ・レスリング選手権大会 女子フリースタイル U15の部 73kg級 第1位</p> <p>②稲葉 玲王 第4回ジャパンオープンオブサーフィン大会 優勝 ISAワールドサーフィンゲームス出場</p> <p>③大原 沙莉 2023IBCワールドツアー ワールドチャンピオン</p> <p>④千葉県立長生高等学校2年 鈴木 駿星 JOCジュニアオリンピックカップ 第17回U18陸上競技大会 男子ハンマー投げ 優勝</p>		



	<p>⑤岩見 天獅 I S Aワールド・ジュニア・サーフィンチャンピオンシップ 団体1位・個人4位</p> <p>⑥稲葉 玲王 2024年パリオリンピック・サーフィン競技 日本代表決定</p> <p><b>【横断幕】</b></p> <p>①一宮小学校3年 神馬 朱桜 第23回千葉県小学生空手道選手権大会 小学3年女子組手 準優勝 第23回全日本少年少女空手道選手権大会 出場 一宮小学校3年 神馬 李桜 第23回千葉県小学生空手道選手権大会 小学5年女子形 準優勝 第23回全日本少年少女空手道選手権大会 出場</p> <p>②一宮小学校3年 神馬 李桜 笹川杯第12回関東少年少女空手道選手権大会 小学5年生女子形 第3位 (関東代表決定) 令和5年度スポーツ長官賞争奪 日本生命杯第3回全日本少年少女空手道 選抜大会出場</p>
求める成果	町の教育、学術及び文化における功績を称え、生涯学習の推進を図る。

●施策11 「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進

事業名	社会体育施設の運営	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	B
事業内容	利用者の安全確保のため、各施設の老朽化に対応した修繕等を実施する。		
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨海運動公園（テニスコート・ゲートボール場・野球場）、GSSセンター、振武館を町民のスポーツ活動の機会やレクリエーションの場として貸し出した。</li> <li>・各施設は設置から30年以上経過し、老朽化が進んでいることから、利用者が安全に利用できるよう適宜修繕を行った。</li> <li>※臨海運動公園：トイレ修繕他6件、空調工事1件 GSSセンター：男女トイレ、壁修繕他10件、高圧受電設備工事3件 振武館：トイレ修繕他2件</li> <li>・各小中学校体育施設の無料開放は新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を踏まえ、令和5年度はこれまで通り4月から実施し、空手やミニバス、バレーボール、野球、サッカー等の11団体が体育館やグラウンドを利用し、夜間や休日にスポーツ活動に励んだ。</li> </ul>		
求める成果	スポーツレクリエーションの機会と場所を提供し、スポーツ活動や世代間交流の推進を図る。		

事業名	生涯スポーツ	担当課・係	教育課社会教育係
		評価	A
事業内容	各種スポーツの活性化、町民の健康増進につなげるため、スポーツに親しむ環境や機会、情報を提供する。		
現状と課題	<p>◆一宮町スポーツ推進委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員は指導者の育成・確保、質の向上を目的に長生地区スポーツ推進委員研修会に参加した。</li> <li>・一宮町独自の軽スポーツ普及の一環として、「さいかつぼーる」の体験会を1月21日(日)、3月17日(日)を実施し、約20名が参加して新たなスポーツを楽しんだ。</li> <li>※さいかつぼーる：変形した柔らかいボールを使用し、タッチバレーのルールで行う軽スポーツのこと。</li> <li>・地域住民の交流を深め、軽スポーツの普及推進を図る「長生地区スポーツレクリエーション祭」は中止となったため、「長生地区スポーツ推進委員連絡協議会交流会」においてタッチバレーボールを行った。</li> <li>・11月12日(日)の体力測定会には17名が参加し、体力測定を65歳以上と未満のクラスに分けて測定した。9種類(握力測定・上体起こし・長座体前屈・シャトルラン等)の体力調査による体力年齢を確認した。</li> </ul> <p>◆NPO法人一宮町スポーツ協会(以下「スポーツ協会」という。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ協会は町のスポーツ諸団体を統括し、専門部15部門とエンジョイスポーツクラブで構成されており、所属団体は競技力向上に努め、スポーツ指導體制強化の役割も果たしている。</li> <li>・町民の体力維持や健康増進、各種スポーツに親しむことを目的にスポーツ協会を中心に町民スポーツ大会(テニス・ゴルフ)を開催した。</li> <li>・10月8日(日)の町民テニス大会には初心者38名が参加し、テニスの楽しさを知る機会となった。</li> <li>・11月1日(水)の町民ゴルフ大会には幅広い年代の61名を参加し、ゴルフを通して交流を図った。</li> <li>・様々な加盟クラブの活動等を紹介する「スポーツ協会ニュース」を町広報誌に毎月掲載し、最新の活動ニュースを発信した。</li> <li>・町民の体力維持や健康増進を目的とした町の総合型地域スポーツクラブ「エンジョイスポーツクラブ」は、ボッチャやファミリーバドミントン、太極拳、ミニバレー等の種目を定期的にGSSセンターで行った。幼児を対象に体操教室「ニコリ」を月2回開催するなど幅広い年代でのスポーツ活動推進に努めた。</li> <li>・5月27日(土)、エンジョイスポーツクラブが中心となり、スポーツ推進委員やスポーツ協会、長生特別支援学校が連携し、複数のスポーツ種目を体験することができる「エンジョイスポーツの日」を開催した。約100名が</li> </ul>		

	<p>参加し、ボッチャやバドミントン、剣道、テニス、グラウンドゴルフ、卓球等 12 種目のスポーツを体験し、参加者同士が交流を図る貴重な機会となるとともに、パラスポーツの推進に寄与した。</p> <p>◆長生郡スポーツ協会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 5 年度から 2 年間、長生郡スポーツ協会の事務局を担当し、4 年ぶりに長生郡民スポーツ大会を開催した。</li> <li>・6 月から 7 月にかけて野球やテニス、柔道、剣道、バスケットボール等 17 種目の大会を実施し、スポーツ競技を通して地域住民の交流が活発に図られた。</li> </ul>
求める成果	<p>スポーツレクリエーションの機会と場所を提供することで、スポーツ活動や世代間交流を活発化させ、生涯スポーツの推進を図る。</p>